

平成27年司法試験 合格体験記

平成26年度修了（未修コース）丹澤 明主実

1 こんにちは、9期末修の丹沢明主実と申します。私は某ロースクールを中退し、岡大ローに転入学し、1回目の受験で司法試験に合格できました。その私から見た岡大ローの感想と司法試験を目指す皆様へのメッセージを述べさせていただきます。

2 まず、岡大の良いところは、しっかりと組織として司法試験合格を目指している、ということです。よく世間で言われる、司法試験と学者の間で板挟みになって苦しむ学生、というものは岡大ローにはいません。教授の先生方も資料室の方も司法試験の合格に向けてのサポートに協力的であり、集中して勉強をすることができます。岡大は少人数の授業体制をはじめ、教授との距離も近く、受験生をサポートする体制は十分にできていると思います。あとはその恵まれたサポート体制をいかに使いこなすか、自分のやる気次第でどんどん上を目指せるロースクールだと思います。

現在では、司法試験の受験ルートとして予備試験とロー卒という2つのルートが確立されています。このいずれかで迷っている方もいるかもしれませんが、予備試験は合格率が非常に低く、司法試験よりも狭き門となっており、予備試験に一生受からない人もいのではないかな、と思います。その点、ローは卒業しさえすれば受験資格がもらえますし、また岡大ローは現在まで予備試験合格者8名を出しており、その教育力の高さと蓄積されたノウハウの存在を裏付けていると思います。ロー卒であっても予備試験合格の実績は就職活動で有利に働きます。なので、岡大ローに通いながら予備試験を受けるとというのが一番おいしいルートだと思います。

3 また、岡大は良くも悪くも空気がおっとりしています。司法試験の受験というと発狂寸前まで追い込まれてフラフラになっている、というものを想像するかもしれませんが、岡大ローは非常に弛緩した空気があって、それがあまり緊張しすぎずに自然体で司法試験本番を迎え、良い成績を残せることにつながっているのかなと思います。

しかし、いくらリラックスモードだからと言って勉強を疎かにして合格できるという意味ではありません。岡大ローでも受かった人もいれば落ちた人がいるわけで、それを見ていると正しい内容の努力をたくさんした人がやはり合格しているなと思います。ですので、ロー入学を考えている人は、今のうちから司法試験とは何か、その合格のためには何が必要で何が不要なのか、をしっかりと考えておいて正しい努力（勉強内容）をたくさんできるように準備しておいたほうが良いかなと思います。頑張ってください。